



2021年7月末の預金・貸出金動向（速報）

— 信用金庫の預金は3.7%増、貸出金は3.0%増に —

井上 有弘

ポイント

- 2021年7月末の信用金庫の預金は159.4兆円、前年同月比3.7%増となった。貸出金は78.5兆円、同3.0%増となった。貸出金残高は、月末ベースで過去最高額を更新した。
- 全国銀行の預金残高の合計は、854.8兆円、前年同月比増減率は4.1%増となった。貸出金残高の合計は、533.5兆円、増減率は同0.3%減と2か月連続の減少となった。

1. 信用金庫の預金・貸出金

2021年7月末の全国254信用金庫の預金残高の合計は159.4兆円、前年同月比3.7%増となった。貸出金残高の合計は78.5兆円、同3.0%増となった。前月の6月末は、預金が同4.9%増、貸出金が同4.4%増であったので、いずれも増減率が鈍化した。

預金は、年金やボーナスの影響もあり過去最高額となった6月末残高(159.7兆円)よりやや減少した。貸出金は、6月末残高(78.4兆円)を上回り月末ベースで過去最高額を更新した。

20年度以降、コロナ禍に対応した資金繰り資金や各種給付金が預金口座に滞留していたが、そうした動きが前年同月比でみると一巡しつつある。このため、預金では法人預金、貸出

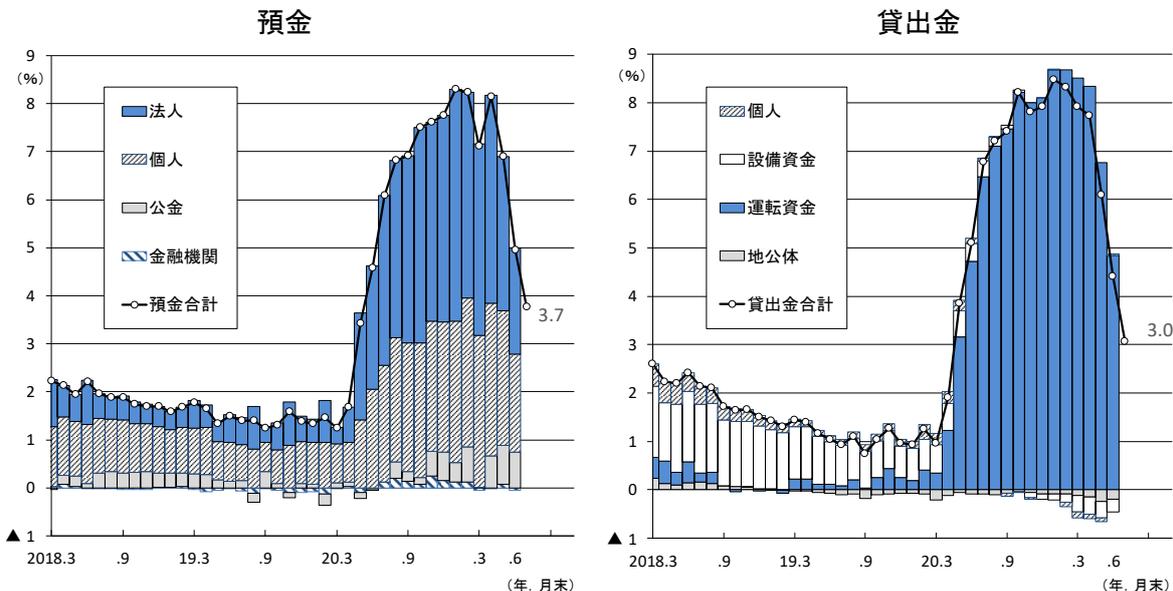
金では企業向け運転資金の寄与が大きく鈍化し、預金、貸出金とも5月以降、増減率の低下幅が大きくなっている(図表1)。

2. 銀行の預金・貸出金

全国銀行協会が公表した7月末の速報によると、全国銀行110行の預金残高の合計は、854.8兆円、前年同月比増減率は4.1%増となった。貸出金残高の合計は、533.5兆円、増減率は同0.3%減と2か月連続の減少となった。

業態別の貸出金をみると、都市銀行は同3.1%減と3か月連続で減少、地方銀行は同1.9%増、第二地方銀行は同3.3%増となった(図表2)。各業態の増減率とも、資金繰り資金急増の影響が一巡し、低下傾向で推移している。

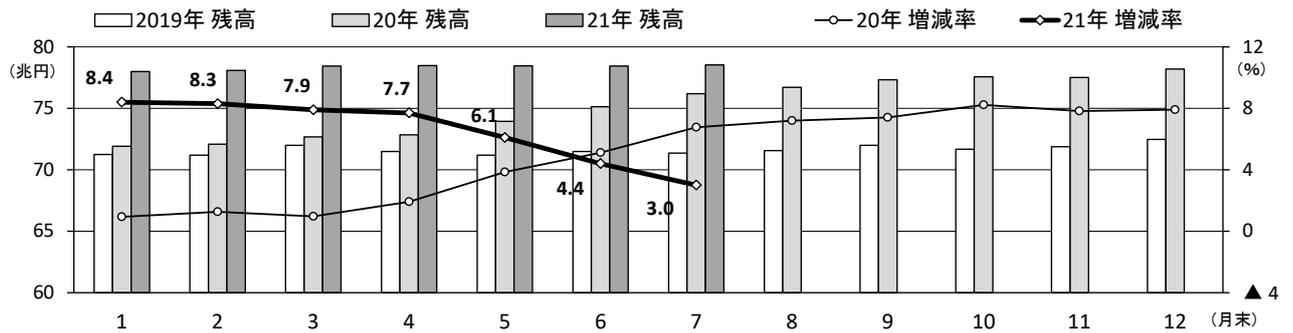
(図表1) 信用金庫の預金・貸出金動向 (前年同月末比増減率)



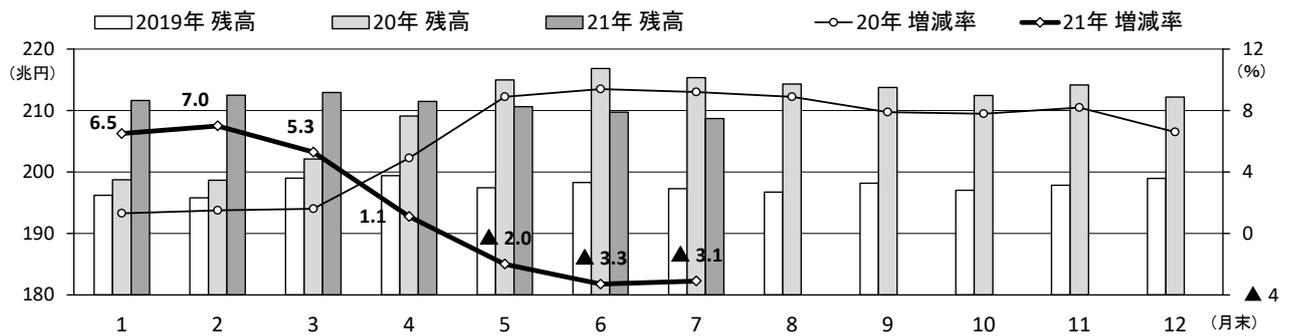
(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成。棒グラフは6月末までの預金者別・貸出先別の寄与度分解

(図表2) 月別にみた業態別貸出金動向 (2019年1月~21年7月末までの残高、前年同月比増減率)

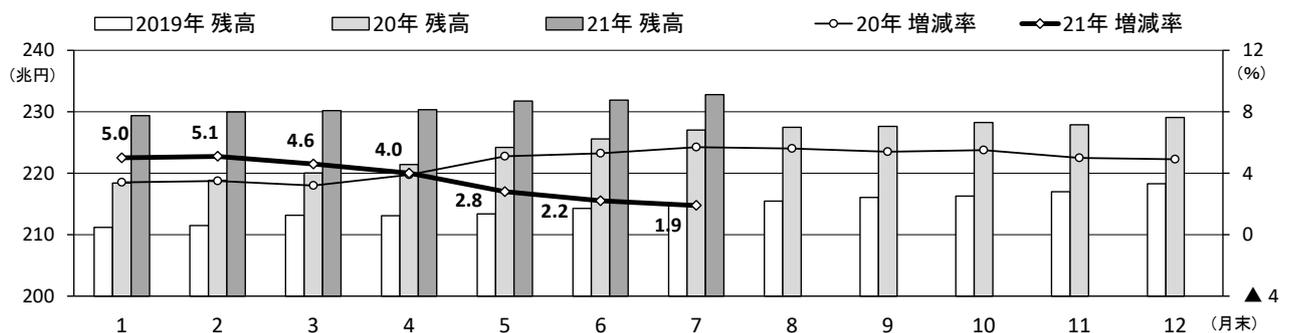
信用金庫



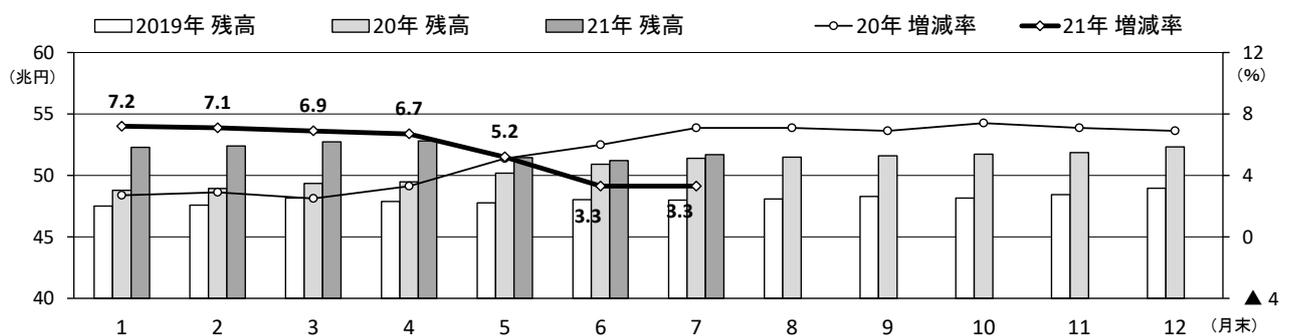
都市銀行



地方銀行



第二地方銀行



(備考) 全国銀行協会「全国銀行預金・貸出金等速報」等より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

以上

※「信用金庫地区別預金・貸出金(残高)」、「信用金庫 預金、現金、貸出金残高(地区・都道府県別)」を信用金庫に還元しております。併せて、ご活用ください。

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。